

令和7年11月28日

南越前町長 仲倉 典克 様

河野給食センターの今後の在り方検討委員会
委員長 田中正則

河野給食センターにおける今後の在り方について（建議）

このことについて、当委員会において審議いたしましたところ、その方策について下記のとおり決定しましたので、必要な措置を講ぜられるよう提言いたします。

記

1 町が採るべき方策

「河野給食センターにおける今後の在り方については、町内の全小中学校の学級数が減少する前の令和11年度までは、現在の体制を維持することとし、これまでどおり運用していくべきである。

また、この間においては、当給食センターが調理する食数の減少から生じる給食の質の低下を防ぎ、かつ、安定した給食の提供を継続するため、賄材料費に関する補填措置を講ずるべきである。

さらに、町全体で小中学校の学級数が減少する令和12年度に向けて、今後の児童生徒数、各給食センターの提供食数の状況等を踏まえ、保護者の意見を最大限尊重しながら、安全かつ安心な給食を提供できるよう、様々な視点から検証と検討を継続して行うべきである。」

2 委員会要旨

当給食センターにおける今後の在り方を検討するに当たり、次に掲げる事項が懸念される。

- (1) 仮に、当給食センターを町内にある他の給食センターに統合した場合は、新たな備品の購入や施設改修工事の施工など、多額の整備費用が生じる。
- (2) 他の給食センターから河野小学校までの間、給食を運搬するに当たり、調理スケジュールの変更、配送ルートの選定、新たな調理員および配送員の確保、学校の時間割調整等、調理業務委託業者と河野小学校、教育委員会事務局との間における協議や調整を行っていく必要がある。
- (3) 現在の当給食センターは、今後、河野地区内における仕入事業者の高齢化による廃業や提供食数の減少を見据えると、他の給食センターと同水準の給食を提供するためには、町が定める1食当たりの賄材料に要する単価に、さらに上乗せする必要がある。

3 町内給食センターの現状と課題について
詳細については、別紙のとおり

- (1) 町内給食センターの現状について
- (2) 町内児童生徒数等の推移について
- (3) 河野給食センター提供分を南条、今庄給食センターで調理する場合の課題について
 - ①整備費用の試算
 - ②配送ルート
 - ③調理スケジュール
- (4) 賄材料費の推移について

「町内給食センターの現状と課題について」

1 町内給食センターの現状について

南越前町内には、給食センターが3施設あり、その提供先および提供食数等は、次のとおりです。

表：町内給食センターの現状

R7.9.1 時点

南条給食センター	今庄給食センター	河野給食センター
・給食提供先 南条小、南越前中	・給食提供先 湯尾小、今庄小	・給食提供先 河野小
・R7 提供食数（平均） 587食	・R7 提供食数（平均） 164食	・R7 提供食数（平均） 50食
・給食提供可能食数 650食	・給食提供可能食数 450食	・給食提供可能食数 200食
・調理、洗浄等業務委託契約について 契約期間：R6.4～R11.3 ※令和6年度から5年間で契約 契約金額：211,054,800円	・調理、洗浄等業務委託契約について 契約期間：R7.4～R8.3 ※単年度契約で毎年更新 契約金額：10,939,500円/年	・調理、洗浄等業務委託契約について
・(株)メフォスの調理員数 準社員 3人 7時間パート 3人 6.5時間パート 1人 4時間パート 1人 3時間パート 1人 <u>合計</u> 9人	・(株)メフォスの調理員数 準社員 3人 4時間パート 1人 午後2時間パート 1人 <u>合計</u> 5人	・(株)メフォスの調理員数 準社員 1人 4時間パート 1人 <u>合計</u> 2人
・年間維持経費 (R2)4,952千円 (R3)10,685千円(統廃合費用) (R4)2,557千円 (R5)4,010千円 (R6)2,411千円 (平均)4,923千円 ※賄材料費及び調理委託料を除いた額	・年間維持経費 (R2)1,576千円 (R3)1,634千円 (R4)1,929千円 (R5)1,162千円 (R6)770千円 (平均)1,414千円 ※賄材料費及び調理委託料を除いた額	・年間維持経費 (R2)2,038千円 (R3)2,469千円 (R4)1,207千円 (R5)870千円 (R6)4,499千円 (平均)2,216千円 ※賄材料費及び調理委託料を除いた額
・給食運搬車 ハイエース 1台	・給食運搬車 イスズエルフ 1台	・給食運搬車 イスズエルフ 1台

2 町内児童生徒数等の推移について

南越前町内には、河野小学校を含む小学校が4施設、中学校が1施設あります。今後の児童生徒数等の推移は、次のとおりです。令和12年度には河野小学校の児童数は20人にまで減少し、提供食数も約30食にまで落ち込む見込みです。

表：児童生徒数の推移について

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
南越前中学校	247	235	228	232	230	211	206
南条小学校	271	256	246	235	211	201	186
湯尾小学校	67	63	59	57	53	49	46
今庄小学校	60	60	60	62	56	55	50
河野小学校	33	32	26	27	24	20	17
合計	678	646	619	613	574	536	505

(人)

※R8～R13の見込数は、住民票の指定校で集計

表：学級数の推移について

		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
南条給食センター 提供学級数	南条小	11	10	10	10	9	9	8
	南越前中	8	8	8	9	9	8	16
今庄給食センター 提供学級数	湯尾小	6	6	6	5	5	4	4
	今庄小	5	5	6	6	6	5	9
河野給食センター 提供学級数	河野小	4	4	3	3	3	3	3
	合計	34	33	33	33	32	29	28

(学級)

※普通学級として集計

表：提供食数の推移について

		R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
南条給食センター	児童生徒	518	491	474	467	441	412	392
	教職員、施設職員	69	587	557	537	529	500	444
今庄給食センター	児童生徒	127	123	119	119	109	104	96
	教職員、施設職員	37	164	159	154	154	141	124
河野給食センター	児童生徒	33	32	26	27	24	20	17
	教職員、施設職員	17	50	48	39	41	36	26
	合計	801	764	730	724	677	631	594

(食)

※1日平均食数の見込み

3 河野給食センター提供分を南条、今庄給食センターで調理する場合の課題について

① 整備費用の試算

河野給食センターを南条、今庄給食センターに統廃合した場合、河野小学校へ給食提供するために必要な整備費用を試算すると次のとおりです。令和8年度の児童生徒数および学級数で、各給食センターで河野小学校分を提供するには、給食センターによっては、配送時間等を考慮して、新たに保温性の高い食器、増えた食缶分を保管するための備品等の購入が必要になります。また、各給食センターともに給食運搬車の整備、調理員等の増員が求められます。ただし、上記で示したとおり、令和12年度以降の児童生徒数によっては、備品更新等が不要になる場合も考えられます。

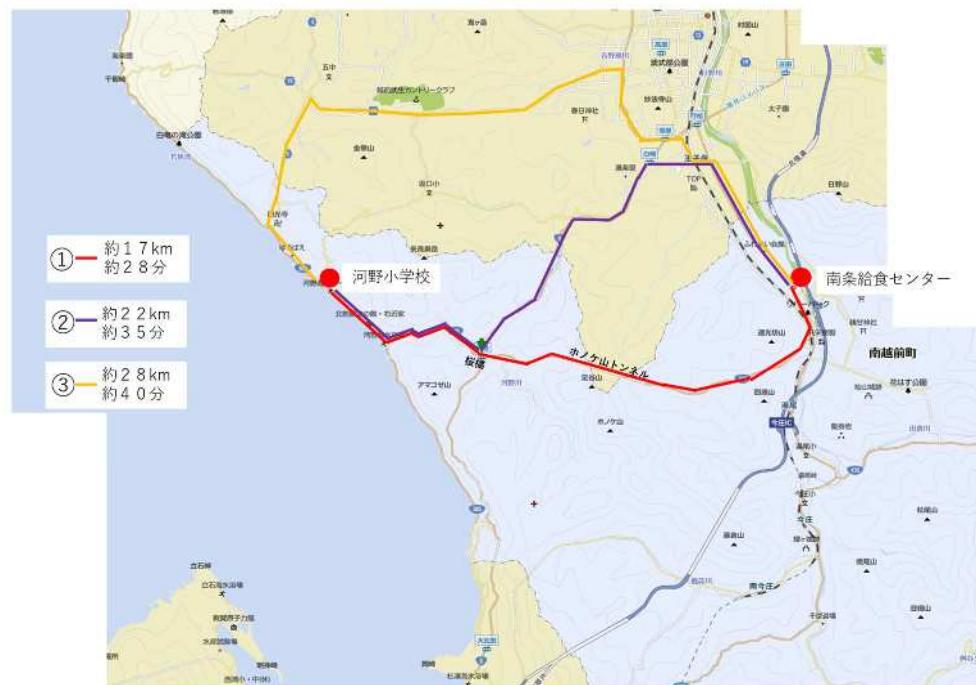
表：整備費用の試算

	南条 給食センター	今庄 給食センター	備考
食器	456,885	456,885	河野児童分の食器。
食缶 食器力ゴ	3,190,660	5,412,000	河野小学校配達分の食缶だけでなく、調理完了時間が早まるため、既存の食缶等をより保温性が高いものに買い替える費用も含む。 ※南条給食センターは保管庫を更新しても、スペースが十分でないため、買い換えない食缶有り。
消毒保管庫	7,403,000		保温性が高い食缶に買い替えると、既存の食缶等より保管スペースが必要となるため、消毒保管庫の更新が必要。 ※今庄給食センターは旧今庄中分の収納余力があるため更新不要。
施設内部改修	363,000		消毒保管庫サイズ変更に伴う内部改修。
給食運搬車	13,893,770	13,893,770	河野給食センターの運搬車が、走行距離が少ないと影響して損傷が激しい。また、各給食センターとの搬入口の高さも違い、昇降機付きの運搬車の購入が必要。
車庫	4,240,000		積雪時も耐えられる車庫の整備。 ※今庄給食センターは今庄事務所車庫使用を想定。
委託料	5,046,701	5,046,701	調理員および配送員（各給食センターから河野小への配達・回収）の1名ずつ増員分。
合計	34,594,016	24,809,356	

② 配送ルート

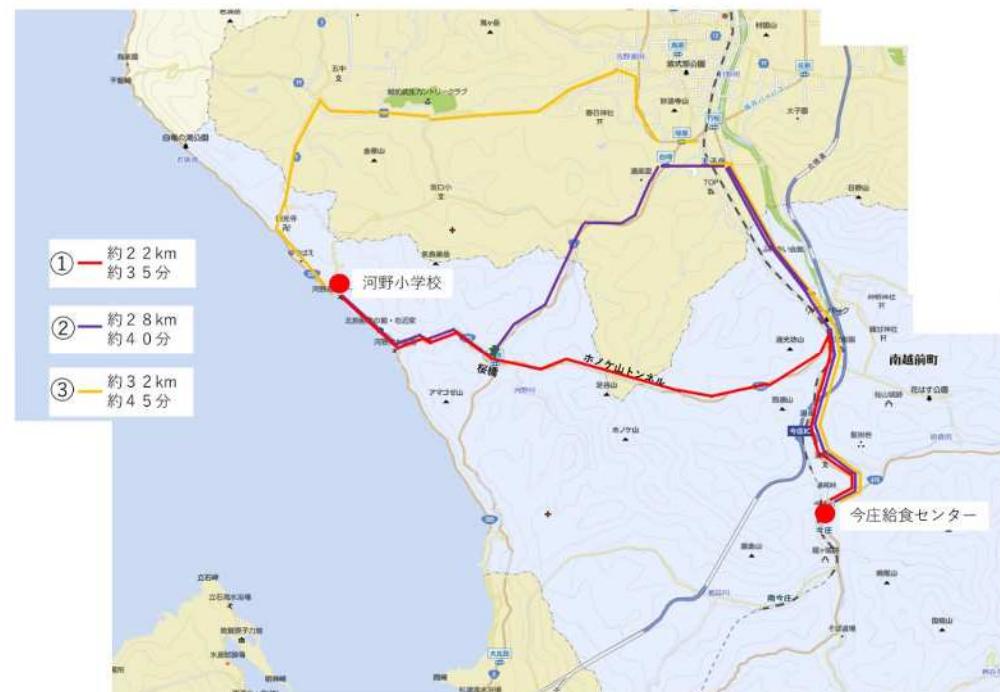
各給食センターから河野小学校まで給食を配送するための配送するルート（案）は、次のとおりです。ただし、災害被害などによって、通行できない道路が発生した場合を考慮し、配送時間と照らし合わせながら他ルートも整理しておく必要があります。

表：南条給食センター 配送ルート（案）



① 通常 ②ホノケ山トンネルが通行できない場合 ③国道8号、305号線が通行できない場合

表：今庄給食センター 配送ルート（案）

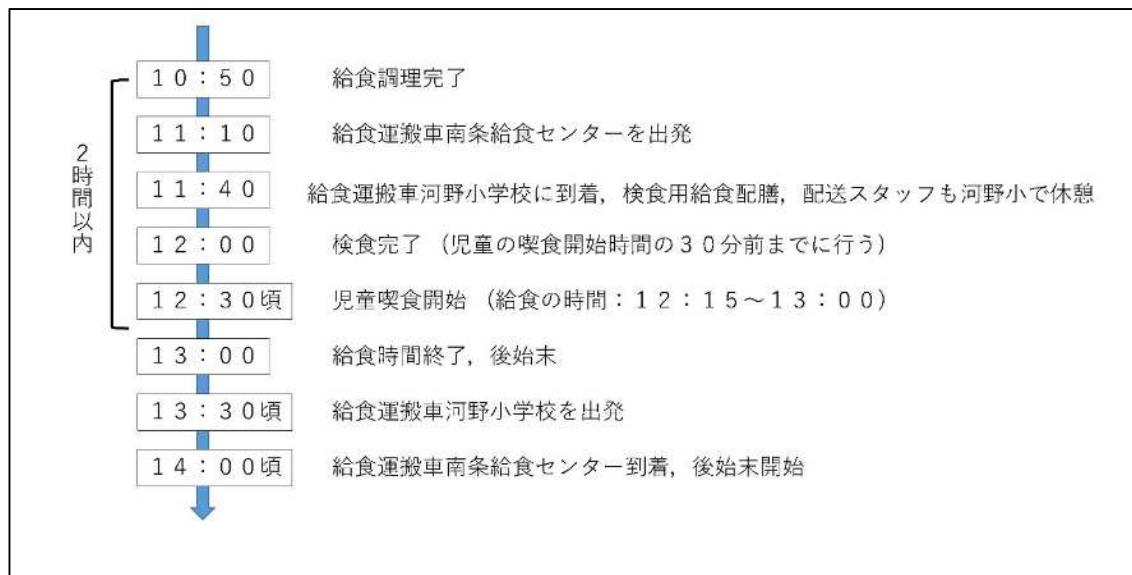


① 通常 ②ホノケ山トンネルが通行できない場合 ③国道8号、305号線が通行できない場合

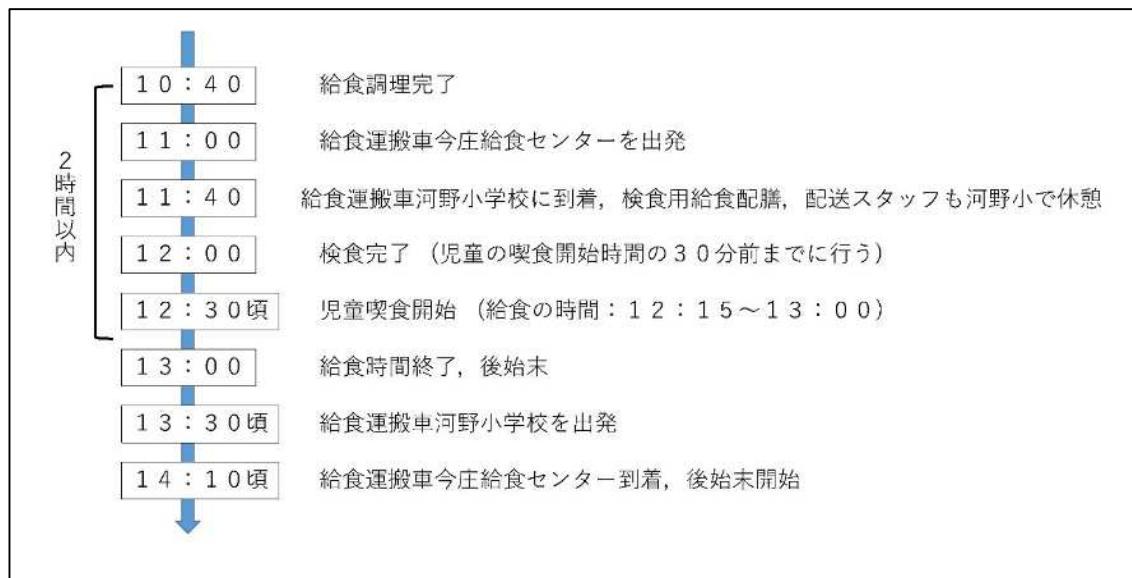
③ 調理スケジュール

「学校給食衛生管理基準」においては、「調理後の食品については適切な温度管理を行い、調理後2時間以内で給食できるよう努めること。」とされています。そのため、各給食センターから河野小学校への配送時間を考慮した調理スケジュールの調整が求められます。また、現在の河野小学校の給食開始時間では、どちらの給食センターで調理しても、調理完了時間が早まり、調理現場の負担が重くなるため、給食開始時間の変更も検討する必要があります。

表：南条給食センター 調理スケジュール（案）



表：今庄給食センター 調理スケジュール（案）



4 賄材料費の推移について

令和7年度の各給食センターにおける賄材料費の推移は下記のとおりです。河野給食センターの場合、提供食数が少なくとも、現状の設備では、一度の調理に必要以上の材料費が必要な場合もあり、他の給食センターより賄材料費が高くなる傾向にあります。

表：賄材料費の推移（令和7年度）

年間	南条	今庄	河野
1食賄材料費単価（4月） 小学校	339	338	377
〃 中学校・教職員	386	385	430
1食賄材料費単価（5月）	332	327	383
〃 中学校・教職員	381	373	437
1食賄材料費単価（6月）	331	329	372
〃 中学校・教職員	377	375	424
1食賄材料費単価（7月）	339	347	362
〃 中学校・教職員	386	396	413
1食賄材料費単価（9月）	329	343	388
〃 中学校・教職員	375	391	442

(円)